

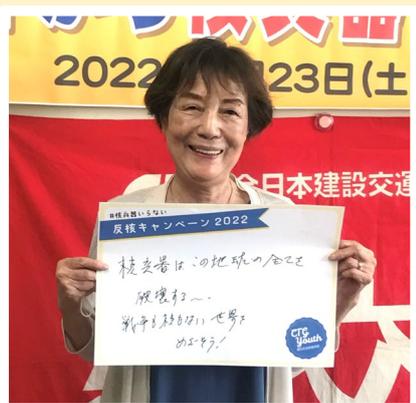
## 反核キャンペーン2022

# 東京青年部 学習・宣伝企画

東京都本部青年部は7月23日(土)、反核キャンペーン2022の企画として学習会を開催しました。講師として広島で被爆された山田玲子さんをお招きし、自身の被爆体験をお話ししていただきました。戦争によって変わっていく日常と原爆投下による凄まじい光景を聞き、核兵器の恐ろしさと廃絶の必要性を再確認しました。



## 戦争も核もない世界を目指そう！



### 山田玲子さんのおはなし

小学校2年生の頃までは着飾ってお出かけをしていたが、3年生で配給制になり、物が買えなくなった。5年生で集団疎開が始まり、出発の数日前に学校の校庭にいたところ、青い空にキラキラと光るB-29を発見。直後、突然何も見えなくなった。何が起きたのか分からなかった。

家になんとかたどり着くと、家はがれきの山。人間とも思えない人が道いっぱいにごろごろいた。広島は3晩燃えた。

後日、道に累々あった死体は、ごみのようにトラックに積み、自分の小学校の校庭に運ばれた。名前も分からない2,300人が燃やされ、そこに埋められた。数か月後、校庭にさつまいもを植えた。いもほりをする、人骨やねちゃったものが一緒に掘り起こされ、食糧難だったが誰も食べることができなかった。

結婚後、原爆の会に入り、世界の人へも被爆体験を語るようになった。「日本が始めた戦争ですよね？」と必ず尋ねられるが、被爆体験を語るにより「だがこの爆弾は使うべきではない」と分かってくる。もう2度と、この悲劇を起こしてはいけない。



学習会の後は、街頭で宣伝行動を行いました。11名で「核兵器無くそう！声を上げよう！」と道行く人々に呼びかけました。

その後はお楽しみの交流会！の予定でしたが、コロナの感染拡大によってあえなく中止に。無念。またみんなでワイワイ集まることを楽しみにして、これからの活動もがんばっていきましょう♪

